

# 「いろいろ工房」 黒松市民センター

## 1 事業概要

黒松市民センターは地下鉄沿線にあるため、利用者は広域にわたるものの、地域住民の市民センター利用は多くありません。

また、核家族化や高齢化によって、住民同士のつながりが希薄になっているという地域課題もあります。

そこで、ものづくりを通して気軽に集える場を定期的に提供することや、地域での仲間づくりの支援をめざし、平成30年度に複数年事業として本講座がスタートしました。

4年目となる今年度は、ものづくりの実技習得とボランティア活動の実践の場を提供し、人材の育成を目指すと共に、ボランティア活動の定着を図ります。



## 2 今年度の活動

6月10日(木)・16日(水)は、本事業のメンバーを講師に迎え、七夕の7つ飾りの意味を確認しながら、「ミニ七夕飾り」の作り方を学びました。メンバーたちは飾りの着物の色を考えたり、短冊に願い事を書いたりして、すてきな七夕かざりを作りました。そして6月25日(金)には、主催事業「サロン de クロマツ」の参加者の方々に、自分たちが習得した作り方を指導するボランティアに挑戦しました。

11月26日(金)ストリングアートを学びました。釘を打つ場所や打ち込む高さに注意し、自分の好みの色の糸をかけていき、それぞれすてきな作品を完成させ、12月3日(金)に主催事業「サロン de クロマツ」の参加者の方々に作成の仕方を指導するボランティアをしました。



## 3 成果と課題

ものづくりの技術を身に付けた受講生が、自ら本事業の講師を務めたり、「サロン de クロマツ」でボランティアを務めたりすることで、「技能習得→実践」の良好な循環が生まれ、地域人材の育成につながっています。

ボランティアを務めた方々は、人に教えることの難しさや楽しさ、やりがいを実感することができました。自分たちが学んだことを、より分かりやすく伝えるにはどうしたらよいか意見を出し合い考えたり、作品の完成を喜ぶ相手を見て自分もうれしくなったりと今後活かせる大切な「気づき」や「喜び」を得たようです。

## 4 今後の展望



本事業のメンバーが、ボランティアとして本格的にもものづくりを人に教える活動をするには、もう少し練習が必要です。自分達が実技を学び、確実に習得することを目標としながらボランティア体験を重ねることで自信に繋がりたいと思います。

ボランティア活動は、まず黒松市民センターの主催講座で行い、徐々に地域のサロン活動や社会学級などに出向いて活動体験を積み、皆さんに喜んでいただけるよう積極的な活動を目指します。